

五月二十六日（県民防災の日）、日本海中部地震から四十一年、しかし、そこで時間がとまってしまった当事者にとっては、昨日のように思えることでしょうか・・・東日本大震災を体験した私たちにとっても身につまされる思いです。今現在台風一号の発生それに刺激される梅雨前線、そして九州南部に線状降水帯発生の予報（27日）が出されています。どうしても避けることが出来ない自然災害の脅威から自分自身や家族を守るためには、その時どういう行動を取るかがその後の人生を決める分かれ目となるのではと思います。地球温暖化によりこれまでと違う雨の降り方や頻発する地震などに対して、家族で話し合ってみる良い機会ではないでしょうか。今までの地域で大きな災害が無かったから大丈夫とか自分だけは大丈夫（正常性バイアス）と言っている人が働くことによる避難が遅れた例を過去のデータ分析から公表されています。次から次と起こる自然災害により過去の災害が薄れていく、時間が経つと風化していく、それと共に教訓も忘れられていく、そして同じことが繰り返されていくように感じます。

今年も「水鏡」をねらいました。が残念な結果に終わりました。

田植え前の短い期間でこれを狙うのは至難の業です。この日も早朝の風のない時間を目掛けて向かったのですが「こまち」が通る瞬間さざ波が立ちご覧のような結果に終わりました。二年連続の失敗です。いつでも撮れると高を括っていた自分が恥ずかしい次第です。その時その「コマ」が奇跡に近い瞬間だと知らされませんでした。だからやめられないのかもしれない、これからも狙います!!

マイフォト 「田植え直前」 令和6年5月23日 AM 6:50頃



6月の交流サロン

6月23日(日)

「絵手紙」教室

午前10時～午後3時迄

展示作品の制作に

ご協力をお願いします!!

ところ：はびねす大仙

参加費二百円

小学生以下無料

今月の「交流サロン」から

「県民防災の日」でもあったこの日、秋田県被災者支援チームの二方に参加をいただき開催の運びとなりました。当交流サロンでは年間のイベントに合わせ開催日の内容を計画しているため毎年同じような形となっていますがこれが功をなしたのか、お陰様で最近では「大曲駅連絡通路」の「折り紙」や「絵手紙」の展示に一般の方々から好評をいただくと活動の励みとなっています。この日も今年の展示のテーマとした

「花」の「折り紙」作りに励んでもらいました、展示するショーウィンドーがなかなかの広さなので今日のように十人近くいるとはかどる様子が見えて風食を作る手にも自然と力が入りました!!その後の風食タイムも久しぶりに賑わいを見せ話に花が咲き楽しい一日を過ごさせていただきました。

【本日のメニュー】

主食・炒めないチャーハン（しらす干し・高菜漬け・溶き卵で炊き込み）本日のメインテッシュ・春雨スープ（椎茸・鶏団子・溶き卵・春雨・ねぎ・生姜など）・副菜・朝採り蕨の浸ししモン添え・胡瓜とシタスのサラダ中華風・お新香（胡瓜と蕪の浅漬け）でした。この風食のメニューも話題作りの一つで食は心を豊かにしますね!!



折り紙制作の様子



「サロン恒例」日替わり定食

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇一九六七〇二八五二